

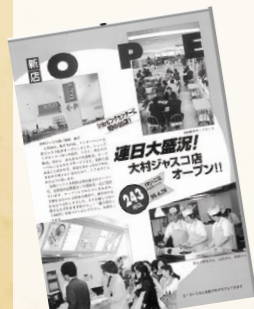
念願の東証一部上場を達成

NPS入会により生産性を劇的に高めたリンガーハットは、それまで展開していなかった関西・中京エリアへの進出を開始します。1994年4月に関西1号店の東大阪西堤店を、8月には中京1号店の愛知県岡崎店を開店。新たなエリアの開拓により、リンガーハットの知名度も全国へと広がっていきま



東証一部上場を果たすとともに、ストックオプション制度を導入し、社員のモチベーションアップを図る

ハットも立地戦略の見直しを余儀なくされます。そこで1995年にはリンガーハット初となるSC内店舗大村ジャスコ店(現イオン大村店)を開店し、その後は大型SCへの出店を展開していきます。リンガーハットは、第300号店となる三鷹井口店を開店した1998年に東京証券取引所第二部に株式を上場しました。さらに2000年には、東京証券取引所と大阪証券取引所の市場第一部への指定替えを行います。創業から38年目の快挙でした。



ショッピングセンター初出店の様子を伝える社内報「はまゆう」



株式会社リンガーハット

証券コード:8200



株主・投資家の皆さまへ

リンガーハット 通信

第59期

中間期(第2四半期)

2022年3月1日▶2022年8月31日

TOP INTERVIEW

販売チャネルの拡充で売る力を高め
永続する企業体質をつくります

リンガーハット

オンラインショップ



リンガーハットオンラインショップ 検索
<https://www.rhk-shopping.jp/>
お問い合わせ 0120-307-490
[受付時間] 平日 9:00~17:00



株式会社リンガーハット

東京都品川区大崎 1-6-1 TOC 大崎ビル 14F 〒141-0032
www.ringerhut.co.jp



どんかつ
濱かつ
HAMAKATSU



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。UD FONT

60th
RingerHut Group
since 1962

2022年度上半期の業績について

新型コロナウイルスによるライフスタイルの変化は、外食産業の経営に大きな影響を与え続けています。夜の時間帯の客数が戻らず、都心部のビルイン店舗は苦戦を強いられました。また、ショッピングセンター(SC)のフードコート店舗も、SC自体の集客力が低下したことによる影響を大きく受けています。

当第2四半期連結累計期間の売上高は179億81百万円(前年同期比10.8%増)、営業損失は5億52百万円(前年同期営業損失9億59百万円)、経常利益は18百万円(前年同期比97.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億81百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益3億18百万円)となりました。時短協力金の計上により経常利益では黒字となったものの、営業利益ベースでしっかりと利益体質を確立することが喫緊の課題と考えています。



販売チャネルの拡充で売る力を高め 永続する企業体質をつくります

新型コロナウイルスの感染拡大が3年目に入り厳しい経営環境が続く中で、新しいライフスタイルに対応できる販売チャネルの開発に継続して取り組みました。AIを活用した業務のデジタル化をはじめ、筋肉質な企業体質づくりも着実に進んでいます。アフターコロナを見据えたリングーハットグループの未来戦略を、2023年度からひとつひとつ形にしていまいります。

株式会社リングーハット
代表取締役社長兼CEO

佐々野 諸延

上半期の主な取り組みについて

「長崎ちゃんぽんリングーハット」では、コロナ禍を受けて取り組んだテイクアウトが売上げの柱に育ってきました。「とんかつ漬かつ」においても、店外から直接購入できる販売窓口を新たに5店舗設置するなどの取り組みが奏功し、売上げは着実に伸びています。

客数が回復している郊外ロードサイドでは、上半期にリングーハットの新店舗を3店舗出店しました。新しい生活様式を踏まえたモデル店舗という位置づけで、客席の間隔を広くとったレイアウトやタブレットオーダー、セルフレジの導入など、ウィズコロナのニーズに応える様々な施策を導入しています。

前期にスタートした自動販売機による冷凍食品の販売は好調で、リングーハットの既存店55店舗に自動販売機を設置しました。これを今年度中に100店舗まで拡大する予定です。また、東京・青梅に自動販売機4台を設置した冷凍食品直売所を出店したところ、予想を大きく上回る売れ行きを示しました。佐賀、京都、富士小山の3工場でも工場直売所を設けて冷凍食品などを販売する取り組みもはじめており、これらを通じて販売チャネルのさらなる拡充と工場の稼働率アップを実現していきます。

筋肉質な企業体質づくりについて

永続する会社となるための筋肉質な企業体質づくりは、前期からの重要なテーマです。AIを活用した業務のデジタル化については、パート・アルバイトの勤務シフト作成を自動で行える仕組みを開発し、店舗でのテストに入りました。これにより店長がシフト作成に要する時間を9割削減できる見込みで、2023年11月をめどに全店への導入を計画しています。

食材トレーサビリティの確立も、全社的な生産性向上のために不可欠です。具体的には、店舗で使用する食材ひとつひとつについて、その履歴を生産者まで遡れるようにします。この仕組みによって、予測使用量を踏まえた正確な計画生産が可能になり、食材の鮮度向上や在庫圧縮につながります。また、この取り組みを通じて生産者に対して、効率のよい生産方法



リングーハット冷凍食品直売所 青梅店

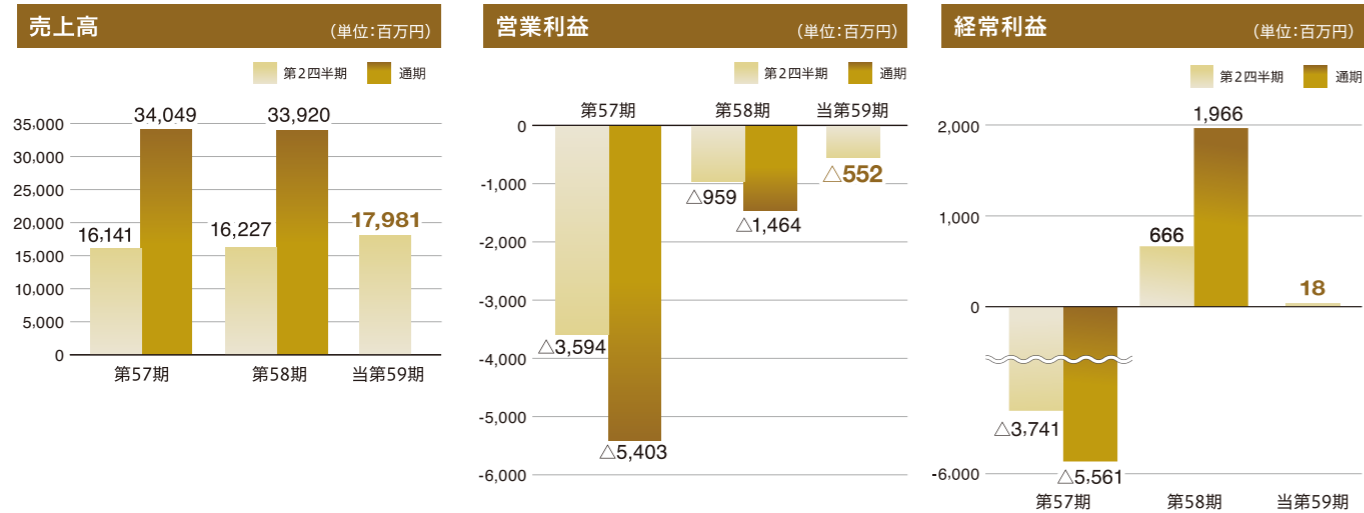
などを導入するためのサポートもできます。日本の農業の存続と発展に貢献し、SDGsを実現していくうえでも重要なテーマと位置づけています。

未来に向けた取り組みについて

「人こそ最重要の財産」と考える当社にとって、働きやすい環境づくりは企業の未来を左右します。そのために前期から「ダイバーシティ推進」を新たに掲げました。社員が自由に意見を出し合う「ダイバーシティ未来座談会」に私も参加し、育児休業制度の取得期間延長や取得条件の緩和などを迅速に進めてきました。女性の管理職比率は9.3%、外国人の正社員は10人となるなど、着実に成果が出ています。

未来戦略ではもうひとつ、海外事業に黒字化のめどができてきたことが挙げられます。進出国の中ではカンボジアがきわめて好調で、下半期には3号店を出店する予定です。進出当初から現地のニーズに合わせた商品を導入してきたことが奏功しました。海外事業は“アフターコロナ”の企業成長を考えるうえでも重要であり、これからじっくりと育てていく考えです。

下半期も、新しい時代に向けた強い企業体質づくりに取り組んでまいります。株主の皆さまにおかれましては、中間配当金が無配となりましたこと大変申し訳ございませんが、引き続きリングーハットグループへのご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



資産合計		負債・純資産合計	
第58期 2022年 2月28日現在	34,118	第58期 2022年 2月28日現在	34,118
当第59期 2022年 8月31日現在	30,155	当第59期 2022年 8月31日現在	30,155
流動資産 10,474	流動資産 6,393	流動負債 7,446	流動負債 7,375
固定資産 23,644	固定資産 23,757	固定負債 14,150	固定負債 10,612
		純資産 12,521	純資産 12,167

	前第2四半期 2021年3月1日から 2021年8月31日まで	当第2四半期 2022年3月1日から 2022年8月31日まで	差異
営業活動によるキャッシュ・フロー	370	362	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△788	△1,097	△308
財務活動によるキャッシュ・フロー	△774	△3,782	△3,007
現金及び現金同等物の期首残高	8,348	7,896	△452
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,212	3,430	△3,781

RHG News リンガーハットグループ ニュース

佐賀工場内に直売所をオープンしました!

佐賀工場では、京都工場に続き2022年4月に直売所をオープンし(毎週金・土・日・祝日の10:00~17:00)、おかげさまでご好評をいただいております。直売所では、長崎ちゃんぽんや長崎皿うどんの冷凍商品、ドレッシング、契約農家より直送された新鮮な国産野菜や工場生産のもやしのほか、工場直売所ではか買えない限定商品など多数の商品を販売しております。



長崎ちゃんぽん事業



2022年(第2四半期) 売上高 **14,242**百万円 (前年同期比10.3%増)

長崎ちゃんぽんリンガーハットでは、これまで支えてくださったお客さまに感謝の気持ちを込めて、創業60周年記念のキャンペーンを実施。第一弾として6月に「100円引きレシートクーポン」プレゼントを、第二弾として8月に「ハズレなし、お食事引換券や割引券が当たるレシート抽選くじ」を実施しました。また7月に記念メニュー「夏野菜と豚しゃぶ冷やしちゃんぽん」を販売しました。下半期も引き続き創業60周年記念企画を行う予定です。

商品施策では、季節商品として3月に「春のちゃんぽん あさりシリーズ」を、4月に夏の定番「冷やし麻婆茄子ちゃんぽん」を販売、5月にはリンガーハット初の国産ケールを使用した夏季限定商品「彩り野菜のちゃんぽん」「彩り野菜の皿うどん」「梅肉と鶏むね肉の冷やしませめん」3品を販売しました。

また、非接触・非対面方式でリンガーハットブランドの冷凍商品を24時間いつでも購入していただける冷凍商品自動販売機の設置を進め、現在、全国で55台となりました。

以上の結果、売上高は142億42百万円(前年同期比10.3%増)、営業損失は5億72百万円(前年同期営業損失8億83百万円)となりました。



とんかつ事業



2022年(第2四半期) 売上高 **3,663**百万円 (前年同期比13.1%増)

とんかつ漬かつでは、創業60周年を迎えるにあたり、創業当初から夏季限定商品として好評いただいている「梅肉入りとんかつ」を進化させた創業60周年記念メニュー「節目の夏御膳(梅しそ巻)」を7月に販売。8月には熊本・宮崎・鹿児島県の3県限定で「チキン南蛮」を記念復刻販売しました。また長崎ちゃんぽんリンガーハットと共通の60周年記念キャンペーンを実施。第一弾として6月に「100円引きレシートクーポン」プレゼントを、第二弾として8月に「ハズレなし、お食事引換券や割引券が当たるレシート抽選くじ」を実施しました。下半期も引き続き創業60周年記念企画を行う予定です。

季節商品として、昨夏もご好評いただいた「梅しそ重ねかつ」のほか、国産パプリカを使用した新商品「パプリカ巻かつ」、大根おろしと醤油を合わせた「染めおろし」が楽しめる平日ランチ限定メニューを販売、7月には毎年人気の数量限定の「夏得袋」や、「かつ尽くしキャンペーン」を行うなど、販売強化に取り組みました。

以上の結果、売上高は36億63百万円(前年同期比13.1%増)、営業利益は3百万円(前年同期営業損失1億55百万円)となりました。



プレミアム株主倶楽部 Ringer Net

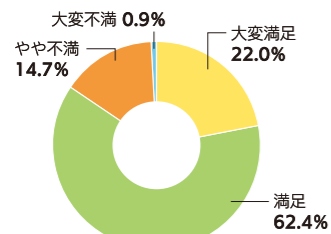
プレミアム株主倶楽部 Ringer Netは、株主さまとのコミュニケーション強化及び株主さまの利便性向上を目的としたウェブサイトです。
株主さま限定情報配信や株主総会のライブ中継視聴など様々なコンテンツをご用意しております。

株主アンケートの集計結果のご報告

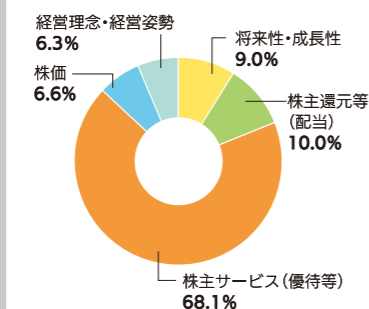
2022年5月9日～6月15日に当サイトにて実施いたしました「株主アンケート」の集計結果をご報告申し上げます。

■ 対象：議決権あり株主さま 40,630名 ■ Web調査 ■ 回答数：2,152件(回答率5.3%)

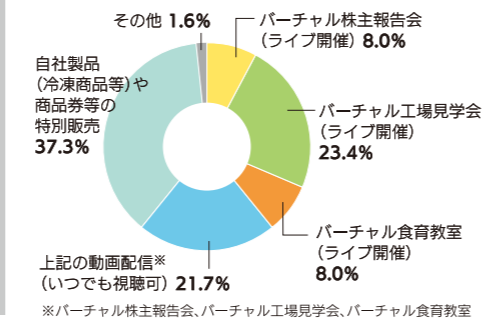
当社株式をお持ちになった満足度をお聞かせください



満足度の選択理由をお選びください



プレミアム株主倶楽部Ringer Netで今後実施を希望するものがあればご回答ください(複数回答可)



自由記述(一部抜粋)

- 今後インターネット上でのコンテンツを充実させていくのであれば、バーチャル工場見学会のような面白いものを期待します。
- 新製品の試食会やモニター制度などがあると良いと思います。
- この株主倶楽部のような新しいことにどんどんチャレンジして欲しいです。

株主アンケート(中間期)を実施いたします

実施期間 2022年11月11日～12月10日

創業60周年記念!



当サイト内にて株主アンケート(中間期)を実施いたします。創業60周年を記念して、ご回答いただいた株主さまの中から抽選でリンガーハットグループ共通商品券をプレゼントいたします。(詳しくは当サイトにてご確認ください)

1等 30,000円分(60枚) ▶ 2名さま
2等 3,000円分(6枚) ▶ 100名さま

また、希望者の中から20名さまにリンガーハットグループ60周年社史[60th RingerHut History]をプレゼント。

回答はこちらから!



LINE プレミアム株主倶楽部 LINE公式アカウントができました

株主さま限定情報配信やコンテンツ更新などをご連絡いたしますので、ぜひ「友達登録」してご利用ください。

QRコードからお友達登録

LINEアプリの「お友達追加」⇒「QRコード」から右のQRコードを撮影しご登録ください。



※QRコードはQRコードリーダーの登録商標です。

ID検索からお友達登録

LINEアプリの「お友達追加」⇒「検索ID」から下のIDを入力しご登録ください。

LINE ID @premium_ringernet

プレミアム株主倶楽部に関するお問い合わせは、リンガーハットHPにて https://www.ringerhut.co.jp/customer_support/inquiry/



Company Information

■ 会社概要

会社名	株式会社リンガーハット (RINGER HUT CO., LTD.)
本店所在地	長崎県長崎市鍛冶屋町6-50
グループ本社	東京都品川区大崎1-6-1 TOC大崎ビル14F
創業	1962年7月22日
設立	1970年6月13日
資本金	9,002,762,834円
主な事業内容	長崎ちゃんぽん専門店「リンガーハット」、とんかつ専門店「濱かつ」を主としたチェーン店及び、長崎郷土料理「長崎卓袱浜勝」の経営、食品・食品原材料の製造・加工並びに外販事業及び設備メンテナンスなどに関する事業

従業員数(連結ベース) (2022年8月31日現在) 正社員/547名 リンガーメイト・スター(パートタイム・アルバイト)/約10,000名

グループ店舗数 全679店舗(2022年8月31日現在)
北海道・東北地方... 13 中国・四国地方... 40
関東地方... 265 九州・沖縄地方... 222
中部地方... 65 海外... 9
近畿地方... 65

■ 株主メモ

事業年度	毎年3月1日～翌年2月末日
期末配当金受領株主確定日	2月末日
中間配当金受領株主確定日	8月末日
定時株主総会	毎年5月開催

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 【連絡窓口】 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL:0120-232-711(通話料無料) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

上場証券取引所 東京証券取引所(プライム市場) 福岡証券取引所 ※証券コード8200

単元株式数 100株

公告方法 電子公告によりこれを行います。但し、電子公告を行うことができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して公告します。
※電子公告掲載アドレス <https://www.ringerhut.co.jp/>

株式に関するお手続きについて

株主さまの各種お手続きの窓口については、ご所有の株式が記録されている口座によって異なりますので、ご注意ください。

● 特別口座に記録されている株主さま 当社の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL0120-232-711(通話料無料)にお問い合わせください。

● 証券会社等の口座に記録されている株主さま お取引口座のある証券会社等にお問い合わせください。

但し、郵便物などの発送と返戻・支払い期間経過後の配当金に関するご照会、その他株式事務に関する一般的なお問い合わせ等は、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。

■ 株式の状況

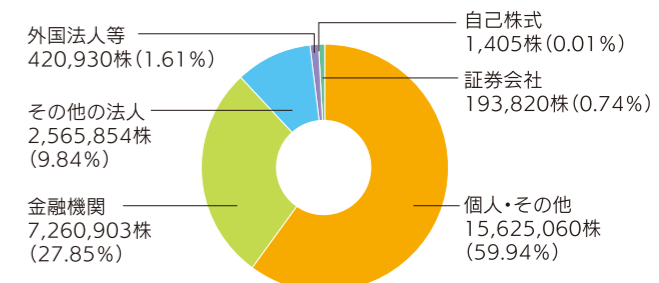
発行可能株式総数	46,000,000株
発行済株式総数	26,067,972株
株主数	46,328名

■ 大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,212	8.49
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口4)	1,082	4.15
株式会社十八親和銀行	655	2.51
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(米濱・リンガーハット財団口)	600	2.30
公益財団法人米濱・リンガーハット財団	600	2.30
第一生命保険株式会社	566	2.17
株式会社三菱UFJ銀行	535	2.05
アサヒビール株式会社	357	1.37
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	348	1.34
株式会社福岡銀行	348	1.34

- 1.大株主の持株比率は自己株式(1,405株)を除外して計算し、小数点第三位以下を四捨五入して表示しております。なお、株式付与型E S O P信託導入に伴い、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(株式付与型E S O P信託口)が保有する当社株式162,424株は、自己株式には含めておりません。
- 2.株式会社日本カस्टディ銀行の所有株式は、証券投資信託等の信託業務に係る株式であります。
- 3.日本マスタートラスト信託銀行株式会社の所有株式は、証券投資信託等の信託業務に係る株式であります。
- 4.公益財団法人米濱・リンガーハット財団は、当社グループ創業者(ヨネハマホールディングス株式会社)と当社それぞれの拠出により、育英事業、文化・芸術・スポーツ等の発展普及推進事業を目的に、2015年9月に設立された公益財団法人であります。(詳しくは<https://yonehama-rh-found.or.jp/>をご覧ください。)
- 5.日本マスタートラスト信託銀行株式会社(米濱・リンガーハット財団口)は、公益財団法人米濱・リンガーハット財団を受益者として設定した他益信託によるものです。

■ 所有者別の状況



中間配当に関する取締役会決議について

2022年10月14日開催の当社取締役会決議により、第59期(2022年3月1日から2023年2月28日まで、以下同じ)の中間配当のお支払いにつきましては、下記の通りとなりますので、ご通知申し上げます。

記

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の浸透などに伴い、まん延防止等重点措置の全面解除があったものの、繁忙期である7月、8月にふたたび新規感染者数が急激に増加したことによる大幅な客数の減少により、売上高、利益ともに当初予想を下回りました。

これにより、2022年10月14日開催の当社取締役会において第59期の中間配当金(2022年8月31日基準日)の実施を見送ることとさせていただくことを決議いたしました。

株主の皆様には、深くお詫び申し上げますとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上